

## [成果情報名] 農福連携における社会的効果の類型化

[要約] 農福連携を通じた営農活動により、利用者である障がい者にとっては「直接的効果」と「間接的効果」が現れ、それが具体的にどのような効果が発現するものであるかを明らかにすることで、農福連携による社会的効果の理解促進につながる。

[キーワード] 農福連携、社会的効果、直接的効果、間接的効果、定義、類型化

[担当] 三重県農業研究所 地域連携研究課

[分類] 研究

---

### [背景・ねらい]

農業と福祉が連携することで、農業・農村と福祉（障がい者）の双方の課題解決が図れるとともに、障がい者にとっては、営農活動を通じた身体面や精神面への直接的な効用や、福祉事業所外とのつながりやコミュニケーション能力の向上などの社会的な効用が期待される。しかし、こうした課題解決や直接的な効用、社会的な効用について、具体的に実証した研究は少ない。特に、直接的な効用と社会的な効用に関する研究が少ないことから、本研究では、これらの効用を併せて「社会的効果」と定義し、福祉事業所へのインタビュー調査から、社会的効果の具体的な中身を把握するとともに、それらの類型化を試みる。

調査は、障がい者就労支援を行う県内の5つの福祉事業所において、各事業所の代表者に対する対面式のインタビューを実施する。

### [成果の内容・特徴]

1. 分析の結果、社会的効果としては、障がい者自身に直接的に発現する効果である「直接的効果」としての「障がい者の自主性や自立心を高める」ものと、障がい者に対して間接的に影響を及ぼす効果である「間接的効果」としての「障がい者の社会参加を後押しする」ものの二つの効果に大別される（図1）。
2. 直接的効果は「身体面・健康面」、「精神面・情緒面」、「生活面・仕事への取組姿勢」の各効果に具体的に分類される。間接的効果は「生活面・暮らしの環境」、「社会面」の各効果に具体的に分類される（図1）。
3. 「直接的効果」については、「体力がついた」「感情面、精神面が落ち着いた」「生活リズムが改善した」など、利用者である障がい者にとっては、目に見える、あるいは実感できる効果がどのように現れるかを具体的にイメージしやすくくなったものと考えられる。
4. 「間接的効果」については、「工賃が向上した」「一般就労の機会が増えた」など、利用者である障がい者本人だけではなく、周囲に対する波及効果がさらに利用者自身にも好影響を及ぼす間接的な効果が現れることの理解を促すものを示唆するものである。

### [成果の活用面・留意点]

1. インタビュー内容は、「農業に取り組んだことで、利用者の行動や生活状況にどのような変化が見られたか」など、農福連携に取り組むことでの効果等を問うもので、分析には SCAT という手法を用いる。SCAT は、比較的小規模なデータ分析に適した質的データ分析の手法である。
2. 今回の研究では、5つの事業所を例にとって分析を行っただけであり、それが農福連携に取り組む福祉事業所全般に当てはまるものかどうかは分からない。そのため、今後はアンケート調査等を活用した量的調査とその分析を行う必要がある。

※図1のストーリーラインとは、SCATの手法により、インタビュー内容の逐語記録を分析、整理した結果から導き出されるインタビュー内容の要点である。

# [具体的データ]

<ストーリーラインからの社会的効果キーワードの抽出>

## A事業所

- ① 高い出勤率
- ② 協調性の高まり
- ③ 集中力や忍耐力の獲得
- ④ 交流の機会の創出
- ⑤ コミュニケーションの活発化
- ⑥ 興味の幅の広がり
- ⑦ 一般就労
- ⑧ 障がい者への理解促進

## B事業所

- ① 高い出勤率
- ② 規則正しい生活リズムの体得
- ③ 健康体への成長
- ④ 達成感と自信の獲得
- ⑤ 自立性の高まり
- ⑥ 交流の機会の創出
- ⑦ コミュニケーション力の向上
- ⑧ 外部とのネットワークの拡大
- ⑨ 一般就労
- ⑩ 障がい者への理解促進

## C事業所

- ① 健康づくり
- ② 成功体験の獲得
- ③ 障がい者への理解促進
- ④ 自立心の向上
- ⑤ 好奇心の広がり
- ⑥ 一般就労

## D事業所

- ① 健康の増進
- ② 高い出勤率
- ③ 障がい者への理解や認知の増進
- ④ 交流の機会の創出
- ⑤ コミュニケーションの機会の獲得
- ⑥ 工賃の緩やかな上昇
- ⑦ 外部とのネットワークの拡大

## E事業所

- ① 高い出勤率
- ② 責任感と協調性の獲得
- ③ 自信の獲得
- ④ 達成感の獲得
- ⑤ 生活の質の向上
- ⑥ 交流の機会の創出
- ⑦ コミュニケーション力の向上
- ⑧ 障がい者への理解促進

<キーワードの整理>

- 健康  
成功体験  
障がい者への理解  
自立心  
好奇心  
一般就労  
高い出勤率  
交流の機会  
コミュニケーション力  
工賃  
ネットワーク  
協調性  
集中力  
忍耐力  
生活リズム  
達成感  
自信  
責任感  
生活の質

<キーワードの分類>

直接的効果		
身体面	精神面	生活面(仕事への取組姿勢)
健康	成功体験 自立心 好奇心 達成感 自信	高い出勤率 コミュニケーション力 協調性 集中力 忍耐力 生活リズム 責任感
間接的効果		
生活面(暮らしの環境)	社会面	
工賃 生活の質	障がい者への理解 一般就労 交流の機会 ネットワーク	

<社会的効果の定義>

	キーワード	社会的効果の定義
直接的効果	○身体面	障がい者の自主性や自立心を高める
	○精神面	
	○生活面(仕事への取組姿勢)	
間接的効果	○生活面(暮らしの環境)	障がい者の社会参加を後押しする (利用者に対して間接的に影響を及ぼす効果)
	○社会面	

<社会的効果の定義に基づく逐語記録の再整理>

①直接的効果(利用者自身に直接的に発現する効果)

障がい者の自主性や自立心を高める

身体面・健康面	精神面・情緒面	生活面・仕事への取組姿勢
体力がついた よく食べるようになった よく眠れるようになった 肥満が解消した 風邪をひかなくなった 長い時間働けるようになった 薬の量が減った	感情面、精神面が落ち着いた 成功体験を通じて自信が高まった 好奇心が旺盛になった 自立心が高まった 表情が明るくなった 業に頼ることが減った 物事に取り組む意欲が高まった	生活リズムが改善した 出勤率が向上した 自分でできることが増えた 積極性が増した あいさつができるようになった コミュニケーション力が高まった 協調性が高まった 忍耐力が増した 他者への気配りができるようになった 集中力が高まった 責任感が高まった

②間接的効果(利用者に対して間接的に影響を及ぼす効果)

障がい者の社会参加を後押しする

生活面・暮らしの環境	社会面
工賃が向上した 生活の質が向上した 自立した生活ができるようになった	一般就労の機会が増えた 一般就労者の定着率が高まった 福祉事業所と関わる取引先が増えた 福祉事業所外とのネットワークが構築できた イベントなどの交流機会が増えた 福祉事業所に対する認知・理解が進んだ 障がい者に対する認知・理解が進んだ

図1 ストーリーラインから社会的効果を整理するフロー図

[その他]

(石原譲)

研究課題名：農業における障がい者雇用創出に向けた経営モデル等の作成

予算区分：県費（執行委任） 研究期間：2016～2018年度 研究担当者：石原譲